ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会
大阪電気通信大学同窓会組織

No.136
2022.10.

学園創立80周年記念事業募金に応え
目録を贈呈する廣瀬会長

YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

総会報告号

トピックス

- 2022年度一社法人友電会総会報告
- 次代を切り拓く母校に期待を寄せて
  学園80周年・友電会設立60周年記念事業
  100インチ大型モニター寄贈
  国旗掲揚ポール寄贈
- 廣瀬体制２期目のスタート
  ～役員紹介～
  ～IT化に向けた変革～
  ～オンライン会議を充実
  事務局に大型モニターが設置されました
- 学生会館・研修会館の解体に伴うお別れ会開催
- 寝屋川ロボット教室の閉幕　報告

ほか

ゆうでんかい

大阪電気通信大学・同窓会組織　友電会会誌

Contents

01　2022年度一般社団法人大阪電気通信大学友電会
定時社員総会報告

04　学園創立80周年記念事業
募金終了に伴う御礼について

05　硬式野球部阪神大学野球連盟1部
初昇格記念募金について

06　地域に根ざしたモノづくり講座

08　『学生会館・研修会館』お別れ会報告

09　ホームカミングデー中止のお知らせ

10　友電会会報のWEB化について
卒業証明書・成績証明書の発行について

表紙題字「ゆうでんかい」は　故 田崎秀夫　元学長著

ホームページ　https://www.yudenkai.org/

会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAXで
友電会事務局　FAX：072−824−1197
E-mail：info@yudenkai.or.jp<mailto:info@yudenkai.or.jp>

2022年10月31日　第136号

発 行 所／ 一般社団法人大阪電気通信大学友電会（大阪電気通信大学同窓会組織）

YUDENKAI　The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

〒572-8530　大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
（友電会直通）TEL：072-824-3111　FAX：072-824-1197
（大 学 代 表）TEL：072-824-1131　内線3266
郵便振替番号　00990-5-49361

発行責任者／ 一社法人友電会会長　廣瀬一夫
編　　集／ 一社法人友電会事務局
資 料 提 供／ 学校法人大阪電気通信大学、大阪電気通信大学広報部
大阪電気通信大学学務部ほか
寄　贈　先／ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部、その他
印　　刷／ ダイコロ株式会社
発　　送／ セイコー印刷社

大 学 学 章

電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配置しています。 この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希い（ねがい）がこめられています。

つなぐ知　かなえる技

学校法人 大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

学校法人大阪電気通信大学は、1941年の東亜電気通信工学校創立以来、高校・大学での教育を通して有為な人材を数多く輩出し、社会から高い評価を得てきました。

2016年度、初心に戻って本学園の基本となるビジョンを再確認するため、学園の果たすべき使命、それを実現するための心構え、到達すべき将来像を示した指針MV2(Mission,Value,Vision)を策定しました。

そして、2021年に学園創立80周年を迎えるにあたり、この指針の実現に向けて、学校法人大阪電気通信大学のアイデンティティをより明確にし、ブランド価値の向上を図るために学校法人大阪電気通信大学ヴィジュアル・アイデンティティ(VI)を制定しました。

母校のホームページ　大学紹介から引文しました

編集後記

皆様にお届けしてきた友電会誌が136号となった。私事だが、会誌制作に携わり10刊目。

各地の支部総会にも出かけ、前任の吉田祐三氏から写真撮影の手ほどきを受けた。

一社法人化後、表紙を飾る全国各地の絶景を会員から募集し、掲載を始めた。できるだけ会員の手をくぐった１冊に仕立てたかった。

ICT推進の見地から、会誌はデータとして皆様に届けるようになったが、紙媒体を求める方々もいらっしゃる。

先日の理事会で、友電会の情報を届けるホームページや友電会誌が近々、刷新されることが決定した。乞うご期待である。

コロナ禍で社会の在り方や価値観が変わろうとしている。私たちは、変革の真っ只中にいる。取材をした方からポストコロナ後の新しい世界観としてダイバーシティ（Diversity）構想を伺った。（会誌134号とHP21年６月25日掲載）

直訳すると多様性を意味する。

友電会をリードする理事会が、多様な考えが尊重される風土の下で、役員一人ひとりの能力が発揮され、一社としての「社会的使命」と「母校貢献」および「会員へのサービス」をどのように具現化・推進するか会員の皆様に見ていただきたいと思う。

今年度もあと半年となった。

（S）

事務局に購入された60型モニター

2022年度一般社団法人大阪電気通信大学友電会
定時社員総会報告

受付風景

2022(令和４)年６月４日(土)、大阪市内のオービック御堂筋ビルをお借りし、一社法人友電会(会長　廣瀬一夫)は、定時社員総会を開催しました。

全国的には沈静に向かう新型コロナウイルス感染症ですが、社員121名に対して67名(55%)の出席者と委任状及び議決権行使書を提出した28名(23%)は、昨年より多い出席者となりました。ご欠席者の方々の意見をくみ取りながら、審議が進められました。

2022年度定時社員総会議事要録

議決権がある当法人社員総数	121名
出席社員数	67名
委任状提出者数	９名
議決権行使書提出者数	19名

定款22条により、総会は成立した。

■第１号議案　2021年度　事業報告
第２号議案　2021年度　決算報告
2021年度事業報告並びに決算報告に関する件は、賛成多数で承認可決された。

■第３号議案　2022年度事業計画(案)
第４号議案　学園創立80周年記念事業の寄附(案)
第５号議案　2022年度収支予算(案)
上記の議案はまとめて審議され、賛成多数で承認された。

■第６号議案　定款の変更(案)
採決の結果、特別決議として承認要件を満たさないことから否決された。

■第７号議案　新役員候補者の選考(案)
賛成多数で承認された。なお、選任された役員は、後に記載している。
審議資料及び議事録はホームページ「会員サイト」でご覧いただけます。

総会風景

2022年度事業計画

令和４年度は、一社法人としてスタートして３回目の事業年度となり、友電会の品位ある組織作りを推進する。

開会挨拶する廣瀬一夫会長ほか

1　活動の基盤となる各種規則等の策定

・誇りと品位ある友電会として、各種規則、規程を策定しつつ、実効ある運用の推進。

2　支部活動の活性化と若手会員の勧誘

・地域支部の充実と拡大に努め、卒研室やサークル等特別支部の新規設置により、若年層会員による参画を促進、大学との連携を強める。準会員の同窓会への意識を高める働きかけを推進。

3　友電会60周年記念、一社法人設立記念式典の開催、学園創立80周年記念事業への支援

・友電会60周年及び一社法人友電会記念式典の実施と大学へ記念品を贈呈。
さらに大学80周年記念事業への支援推進。

4　実効ある奨学金制度による資産の有効活用

・給付奨学金の拡充を検討、貸与奨学金は、あり方を検討し、現有資産の有効活用を図る。

5　就職活動を支援するとともに活躍する会員紹介

・就職活動を支援する「卒業生ネットワーク」作りに取り組む。

・就職活動をする学生に出前講義や起業家グループでの意見交換の場を提供。

・企業家同友会関係では、会誌やホームページ等を活用して「活躍する先輩コーナー」を設け紹介。

・教職を目指す学生との懇談を進める「教育懇話会」の活発化。

6　若年会員に対する企業支援システムの構築を検討

・若手会員を友電会に引き付ける「起業の手助けとなる支援が得られるシステム」を構築するための検討を開始。

議長選出風景　３名の候補者が立った

友電会60周年記念品贈呈

目録を受けとる大石利光理事長

叙勲お祝い

懇親会風景

懇親会風景

7　機関紙「ゆうでんかい」の刊行

・第136号「社員総会報告号」
第137号「卒業生・新入生特集号」を社員総会終了後と2023.３月に年２回発行する。

新役員紹介

会　長	○廣瀬一夫	k-hirose@yudenkai.or.jp
第１副会長	深野隆司	t-fukano@yudenkai.or.jp
第２副会長	岡本清孝	k-okamoto@yudenkai.or.jp
第３副会長	中田亮生	a-nakata@osakac.ac.jp
事務局長	横山　宏	yokoyama@osakac.ac.jp
企画・運営部会	○大下眞二朗	s-oshita@yudenkai.or.jp
	廣谷　明	a-hirotani@yudenkai.or.jp
	坂手宏行	h-sakate@yudenkai.or.jp
	竹田治英	h-takeda@yudenkai.or.jp
組織部会	○田谷利明	t-taya@yudenkai.or.jp
	平岡　臨	n-hiraoka@yudenkai.or.jp
	堀江健二郎	k-horie@yudenkai.or.jp
	岡崎浩也	h-okazaki@yudenkai.or.jp
事業部会	○三宅一宏	k-miyake@yudenkai.or.jp
	水谷元也	mo-mizutani@yudenkai.or.jp
	森　和明	k-mori@yudenkai.or.jp
	藤田英治	h-fujita@yudenkai.or.jp
総務・財務・広報部会	○澤田正雄	m-sawada@yudenkai.or.jp
	北地憲治	k-kitaji@yudenkai.or.jp
	山崎敏之	t-yamasaki@yudenkai.or.jp
	蕭　烱森	hsiao@yudenkai.or.jp
監　事	○池田　清	k-ikeda@yudenkai.or.jp
	中野正三	s-nakano@yudenkai.or.jp
	山下友彦	t-yamashita@yudenkai.or.jp

○印は、部会長または代表を表す

任期満了　　～2024.６月

友電会から選出された
学校法人理事および評議員

理　事　　大下眞二朗
評議員　　廣瀬一夫
　　深野隆司
　　廣谷　明
　　山口文男
　　石橋明美

美術部員が描いた絵ハガキ

プレゼンする美術部員ら

通信研究会の活動紹介

なお、事業に関するご意見・ご助言は、ぜひ、上記の友電会３役（執行役員）および担当部会へお寄せいただき、友電会事業がますます発展するよう、会員の皆様のご支援を賜わりたく存じます。

学園創立80周年記念事業
募金終了に伴う御礼について

学園創立80周年記念事業に要する資金調達を目的に開始いたしました記念事業募金は、2019年10月１日に募集開始以来、2022年９月30日をもって３年間にわたる募集期間を終了いたしました。

この間、学園の在学生・在校生のご父母、卒業生の皆様や、教職員等現本学関係者、元本学関係者、一般篤志家の皆様、ならびに、日頃お世話になっております法人、団体（各卒業生団体・後援会）等多くの皆様から温かいご支援を賜りました。おかげをもちまして目標額の３億円を上回るご寄付をいただくことができました。

ここに、有難くご報告申し上げますとともに、ご協力を賜りました皆様に厚く御礼を申し上げます。

募金結果につきましては、後日、学園報やホームページを通じて報告いたします。

学校法人大阪電気通信大学は、今後も教育と研究の質の向上と充実をはかり、社会に貢献できる人材の輩出に力を注いで参ります。引き続き、本学園をご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

学校法人大阪電気通信大学
理事長　大石利光

硬式野球部阪神大学野球連盟１部
初昇格記念募金について

大阪電気通信大学硬式野球部は、2022年６月17日におこなわれました阪神大学野球連盟１部２部入替戦に勝利し、創部60年目にして初めて１部に昇格を果たしました。

昇格を記念するとともに今後の活躍を期待し、野球場の安全対策のための設備改善や最新テクノロジーを取り入れた練習環境の整備のため、募金を実施いたします。

部員一人ひとりが日頃の練習を積み重ね、硬式野球部が一丸となって昇格いたしました。後援会会員の皆様からのあたたかいサポートを必要としておりますので、募金にご理解とご協力をお願いいたします。

学校法人大阪電気通信大学
理事長　大石利光

大阪電気通信大学
学　長　塩田邦成

●募集期間は、2022年７月15日～10月31日です。

●個人寄付は一口1,000円以上。法人・団体は一口10,000円以上。複数口のご協力をお願いいたします。一口未満のご寄付につきましてもありがたくお受けします。

●募金詳細・申し込みにつきましては、本学ホームページをご確認下さい。
URL　https://www.osakac.ac.jp/corp/donation/baseball/

●個人・法人ともに税制上の優遇措置があります。詳細は本学ホームページをご確認下さい。

●所得税法第78条第２項により、１年生（保証人も含む）は、入学年の年末（12月末日）まで寄付金に対する所得税控除が適用外となります。

●募金に関する問い合わせは、記念募金推進室bokin@osakac.ac.jpまでご連絡下さい。

地域に根ざしたモノづくり講座
成果を残して発展的終了　2019年

2015年に産声を上げた寝屋川ロボット教室（主宰：大野一廣５期卒）は、2020年に６カ年の活動を終了した。偉業を残した教室の足跡をたどった。

寝屋川ロボット教室の前身は地元商店街「ねやまちネット」

当初は地元商店街（ねやまちネット）の夏休み科学教室開催に呼応、運営に携わり、受講生たちの熱心な受講の様子を幾年か伺ううちに、年間を通じた連続講座を開催すれば子どもたちは科学や工作にもっと興味を抱き、将来の理系進学の弾みになると確信しました。

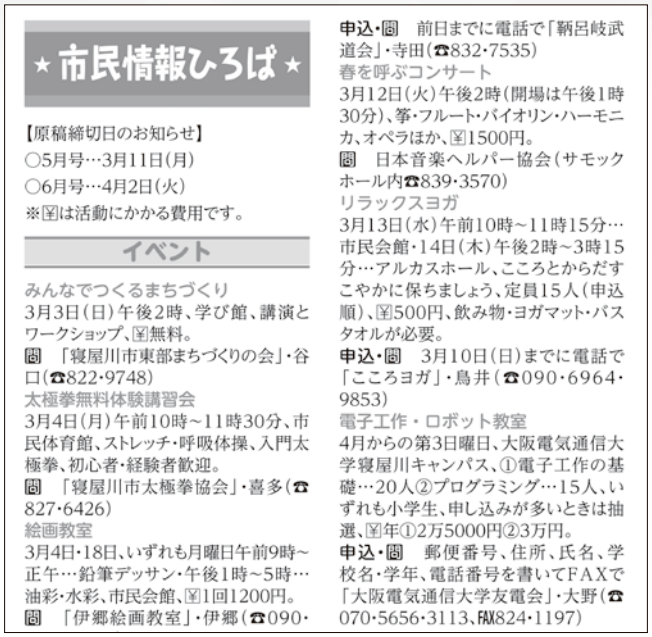
当時の運営スタッフの地元商店街スタッフの方々、積極的にご協力下さった大電通大学生、地元企業OB、OGの方々が、その後の開催を盛り上げて下さいました。

電通大寝屋川駅前キャンパスの開校を機会に「寝屋ロボ」会場を当キャンパスに得ました。

折しも地元寝屋川市内でボランティア活動をされている方から寝屋川市が行う助成金の存在を知り、「寝屋川市公益活動支援事業」に応募、認定を受けて運営活動資金を得ることができたことは大きな励みになりました。

まちを笑顔にする活動を応援
寝屋川市　公募補助金

受講生の募集は毎月発行される寝屋川市の広報「ねやがわ」の４月号に投稿、受付を友電会事務局で執り行って頂きました。



★市民情報ひろば★

【原稿締切日のお知らせ】
○5月号…3月11日(月)
○6月号…4月2日(火)
※㊟は活動にかかる費用です。

イベント

みんなでつくるまちづくり
3月3日(日)午後2時、学び館、講演とワークショップ、㊟無料。
問　「寝屋川市東部まちづくりの会」・谷口(☎822・9748)

太極拳無料体験講習会
3月4日(月)午前10時～11時30分、市民体育館、ストレッチ・呼吸体操、入門太極拳、初心者・経験者歓迎。
問　「寝屋川市太極拳協会」・喜多(☎827・6426)

絵画教室
3月4日・18日、いずれも月曜日午前9時～正午…鉛筆デッサン・午後1時～5時…油彩・水彩、市民会館、㊟1回1200円。
問　「伊郷絵画教室」・伊郷(☎090・
申込・問　前日までに電話で「鞆呂岐武道会」・寺田(☎832・7535)

春を呼ぶコンサート
3月12日(火)午後2時(開場は午後1時30分)、箏・フルート・バイオリン・ハーモニカ、オペラほか、㊟1500円。
問　日本音楽ヘルパー協会(サモックホール内☎839・3570)

リラックスヨガ
3月13日(水)午前10時～11時15分…市民会館・14日(木)午後2時～3時15分…アルカスホール、こころとからだすこやかに保ちましょう、定員15人(申込順)、㊟500円、飲み物・ヨガマット・バスタオルが必要。
申込・問　3月10日(日)までに電話で「こころヨガ」・鳥井(☎090・6964・9853)

電子工作・ロボット教室
4月からの第3日曜日、大阪電気通信大学寝屋川キャンパス、①電子工作の基礎…20人②プログラミング…15人、いずれも小学生、申し込みが多いときは抽選、㊟年①2万5000円②3万円。
申込・問　郵便番号、住所、氏名、学校名・学年、電話番号を書いてFAXで「大阪電気通信大学友電会」・大野(☎070・5656・3113、FAX824・1197)

お陰で「寝屋川市公益活動支援公募補助金」を３年間得ることができました。

通常この種の助成金は助成後の自立を促すために継続最大３年間とされていましたが、幸い地域活動の内容が評価されて延長３年間の計６年間、助成を受け運営が軌道に乗りました。

寝屋川市の助成金終了後は、幸いに友電会から継続的な支援を得て受講生は教材費のみの負担で容易に教室参加が可能となり、地域の少年少女は幸運にも電子工作、ロボット制作に通うことができました。

講座概要

その後、カリキュラムの充実から機材が増え、教材、機材の保管等の便宜から、大学のご厚意で現在のY号館に会場を移し、機材等の保管用に倉庫の一角を得て活動が益々容易になり、多くの子どもたちが寝屋川ロボット教室を巣立っていきました。

月毎の連続講座なので、簡単な工作で道具、工具を使うことから慣れて貰っています。

事業スケジュール（補助金事業に関するスケジュールのみ）

4月	講座内容説明会
5月	基礎初級：発電機の組立（はんだ付け） 基礎中級：学習用テスターの組立 プログラミング：教材ロボットの組立と動作確認
6月	基礎初級：発電機の活用 基礎中級：学習用テスターの活用方法 プログラミング：C-Styleの使い方説明
7月	基礎初級：キャタピラーカーの組立Ⅰ（機構） 基礎中級：音センサー回路基板組立（はんだ付け） プログラミング：センサーの原理と使用方法
8月	夏休み特別講座
	基礎初級：キャタピラーカーの組立Ⅱ（電気）

はさみから始まってニッパー、ラジオペンチ、そしてねじ締め、実はビスとナットで素材を勘合させるのですが、ナットを時計回りに回すとねじが締まることを初めて体験します。

はんだ付けの練習

締め具合が分かるようになるには半年以上を要します。

電子工作で「はんだ付け」は必須、かなり厳しく指導をします。高温のはんだごてを扱うのでやけどなどのけがをさせないようにとの配慮、それでもやけどは皆無ではありません。そんな折には水道水で冷やせば収まります。大げさに騒がないことが肝心、痛さと不注意からの負傷を一番知っているのは本人ですから。体験が最大の防御でしょうか、子どもたちのその後の成長が著しいです。

いろいろな体験学習をして貰いますが金属が溶解する現象に子どもたちは最も驚嘆します。

丁寧に教えれば半年ぐらいで電子回路基板のはんだ付けが出来るようになります。これには年齢は関係なく２年目の低学年生が高学年の初年度生より上手いのは当然ですね。

トランジスターの働きやセンサー（光系）の役目は現象の体験学習で宜しいかと思います。いずれオームの法則等の学校での学習で理解の時がやって来ます。

時折体験学習にメーカーキットを使いますが、これは図面を「見る」から「読む」ことへの練習になります。

細部の説明は人の話を聞く練習から、つい目の前の教材に心奪われて、中々耳がこちらを向きません。根気よく説明します。やがて、顔色がほほ笑む折が分かった時の信号、このためにスタッフは粘り強く付き合います。

年次計画の折につい、あれも、これも伝えたい、教えたいと思うこと多々、しかし子どもたちはLEDが輝き、センサーが働きギヤが回る現象に、そして自分の作品が一番と思っています。寝屋川キャンパスへ通いながら、もういっぱしのエンジニア気分を味わっています。

当活動へのご理解とご支援下さる大学当局、友電会、並びに開催ごとにご参集下さるOB諸氏、学生諸君に改めて感謝を申し上げます。

目を輝かせて電通大キャンパスに通った子どもたちが、これからの日本のモノづくりの一端を担うことを確信しております。

ロボット教室のスタッフと学生ボランティア

長年にわたるご支援に対しまして、大勢の方々のご厚情に感謝申し上げます。一般社団法人として、いつの日か地域に貢献できる事業が再開されることを期待します。

（記・大野F５卒）

『学生会館・研修会館』お別れ会報告

大学が創立された1961年、全国から集う学生のための建物が寝屋川キャンパスにあった。その名は研修会館すなわち共同宿舎。

2022年夏、大学草創期の建造物がその役割を終えて静かに歴史に幕を閉じる。

1971年には、学生自治の砦として建設され、自治会や文化祭実行委員会、應援團等が入居していた学生会館。また、１階には学生食堂が設置され、大勢の学生の胃袋を満たしてくれた。高度経済成長期以降の血気盛んな学生たちを見守ってきた建造物が、同時に取り壊されることになった。

2022年８月27日(土)、２つの建物に思い出を刻んだ卒業生や家族、さらには現役学生が大勢集まって賑やかなお別れ会が催された。

フェンシング部の思い出を語る仲間の皆様

岡山県から来たという男性(２期生)は、「50年ぶりに本学を訪れた。今もあったんですね。」と、かつて自分が過ごした宿舎を懐かしそうに見学されていた。

京都在住の男性(３期生)は、九州から出てきて過ごした日々の思い出を紹介してくださり、共同浴場で病気を皆で共有し、痒さで廊下を走り回って、寮母さんに咎められた思い出を語ってくださった。元寮生は、2、3、7、9期生、それぞれ岡山県、兵庫県、大阪府、新潟県、京都府、滋賀県の６名がお立ち寄りくださった。

学生時代は、文化祭実行委員会に所属したという男性は、仲間と学生会館２階の部屋に入るや壁面の内装をはがし始め、自分たちがいた証拠探しを楽しそうにされていた。ご家族で来られたグループは、３階の広いホールで最後までお子様と遊ばれていたようでした。

今回のお別れ会には、総数40名の方々が各地よりお集まりくださいました。

改めて、ご来場にお礼申し上げます。

卒業記念アルバムを見る親子連れ

■卒業アルバムをお貸しください！

最後にこのニュースを読んでくださった皆様にお願いです。集い会場には、應援團旗やサークル看板、大学プレート、吹奏楽団の記念演奏会等と一緒に卒業記念アルバムが並べられました。残念ながら、下記のアルバムが大学に保管されていません。もし、手元にお持ちの方がおられましたら友電会にお貸しください。

探しているアルバムのナンバー

○1966年(３期生)　○1967年(４期生)
○1968年(５期生)　○1969年(６期生)
○1970年(７期生)　○1971年(８期生)
○1972年(９期生)　○1973年(10期生)
○1974年(11期生)　○1975年(12期生)
○1976年(13期生)

※ご提供者には、粗品をプレゼントいたします。
事務局着払いで郵送してください。
お願いいたします。

解体前の学生会館

研修会館壁面に書き込まれた感謝のことば

想い出を熱っぽく語る茶話会

廃部以来の披露となった應援團グッズ公開

生協や書店･学生食堂で賑わっていたころの学生会館（昔）

ホームカミングデー中止のお知らせ

2022年11月３日に予定されています大学祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため期間を11月５日の１日に短縮して開催されます。この機会に、大学を訪問されるOB・OGの方々と教職員との懇親会は開催致しません。次年度以降の開催については、友電会ホームページでお知らせ致します。

会員情報変更届　　大阪電気通信大学友電会

在籍時の学籍番号

卒業期　　第＿＿期＿＿＿＿年＿＿月　卒

学科・専攻　＿＿＿＿学部＿＿＿＿学科

大学院＿＿＿＿＿＿学専攻

ふりがな　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿［旧姓］＿＿＿＿

現住所　〒　＿＿＿＿－＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号

＿＿＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿＿＿

Email　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先住所　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ふりがな　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属部課　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

通信欄　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

近況・要望などを　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご記入ください　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

友電会会報のWEB化について

友電会が一社法人友電会に移行した2019年に今後会報は、WEB化して当会ホームページ上で閲覧できるようにすることが決定された。将来的には、郵送による情報発信をホームページやメールによる方式に移行したいと考えています。

現在会誌は郵送を希望されている方にお送りしていますが、順次WEB上での閲覧に移行していきたいと考えており、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、今後も友電会誌は郵送で受け取りたいと希望される方は、ページ下のはがきまたは友電会ホームページからご登録をお願い申し上げます。

住所が変わったら、ご連絡を！

お知らせをお届けするために、転居などにより住所を変更された方は、更新連絡をお願い致します。連絡方法は、下記のとおりです。

1. **ホームページの専用フォームから**
2. **ページ下のはがきから**
3. **事務局にメールまたは電話してください**

料金受取人払郵便

寝屋川局承認

49

差出有効期間
2024年9月30日まで

返信：
切手を貼らずに
ご投函ください。

郵　便　は　が　き

5 7 2 8 7 9 0

大阪府寝屋川市初町18－8
大阪電気通信大学内

一般社団法人
大阪電気通信大学友電会
事務局行

住所等が変わった方は、このはがきでご連絡ください。
また、Eメールアドレスを登録される方は、ぜひ、この機会にお願い致します。
友電会ホームページからも住所変更登録手続きが可能です。

［会員情報変更届］

卒業証明書・成績証明書の発行について

卒業証明書・成績証明書は随時発行できます。
卒業後に上記証明書が必要になったら、下記の方法でお申し込みください。

①WEBでの申し込み

申し込みができるのは、以下の証明書です。

・卒業／修了証明書
・学業成績証明書
・在籍証明書
・単位修得証明書

※それ以外の証明は、郵送または窓口でお申し込みください。
※お電話・メールでのお申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。
また、1997年以前の入学者、短大卒業者、退学・除籍者の方については、窓口では即日発行できませんので事前にお問い合わせください。

詳細については、下記のホームページ及び学務課へお問い合わせください。

■各種証明書発行の案内のページ
https://www.osakac.ac.jp/campuslife/various-certificate/graduate/

■WEB申込みのページ
https://e-apply.jp/n/osakac

■母校受付窓口
学務部学務課　証明書発行担当
[寝屋川キャンパス]
〒572-8530 寝屋川市初町18-8
TEL：072-813-7588(直)
平日9：00～17：00(13：00～14：00は除く)
[四條畷キャンパス]
〒575-0063 四條畷市清滝1130-70
TEL：072-876-3318(直)
平日9：00～17：00(11：40～12：40は除く)

一般社団法人
大阪電気通信大学友電会　事務局
連絡先
〒572-8530　大阪府寝屋川市初町18－8
大阪電気通信大学内　友電会事務局
Tel：072-824-3111　Fax：072-824-1197
E-mail：info@yudenkai.or.jp
URL：https://www.yudenkai.org